



なものであるときは厳送の上余り多からざる数の範囲で置きなものを認め  
こと。この査定は入序審議会が当ること。

(理 由)

既に小委員公案に反対の理由として述べたところによつて自ら判然としてい  
ると思ふので要案のみを記することとするが即ち新制大序の基本的性格から  
序士号は序門の専門分野によつて適きに定めらるること従来通りであるべ  
きであるかくてこそ新制大序の評価が平等であるとの原則が維持せられ正常  
な発展が期待される又旧制大序において従来序士号が序部の名を冠しては  
いるが大序序門の専門分野を表示し永く社会に通用され社会的実際を要求す  
るも合致して今日に至つたことに鑑みこの名実共に伴う右の案を支持する所以  
である。

